

PAT-NO: JP02002342537A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2002342537 A

TITLE: ARRANGEMENT MANAGEMENT SYSTEM FOR VOLUNTEER MEMBER AND
MANAGEMENT SERVER

PUBN-DATE: November 29, 2002

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

IYAMA, BUNJO

COUNTRY

N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

ASAHI ENG CO LTD

COUNTRY

N/A

APPL-NO: JP2001152139

APPL-DATE: May 22, 2001

INT-CL (IPC): G06F017/60

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To manage the arrangement of volunteer members suitably to the volunteer members and users who desire volunteer members to be arranged.

SOLUTION: A management server 30, a plurality of user terminal devices 40, and a plurality of a dispatch-side terminal devices 50 are connected to the Internet 20. The management server 30 obtains desired arrangement contents of volunteer members from user terminal devices 40 and the numbers of arrangeable members of respective volunteer groups from the dispatch-side terminal devices 50. Then the management server 30 performs a process for determining an arrangement schedule in a specified period, allocates users by volunteer groups according to the numbers of arrangeable members and the desired arrangement contents of volunteer members and informs the users and volunteer groups of the allocation result which are already obtained.

COPYRIGHT: (C)2003,JPO

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2002-342537
(P2002-342537A)

(43) 公開日 平成14年11月29日 (2002. 11. 29)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード* (参考)
G 0 6 F 17/60	1 5 4	G 0 6 F 17/60	1 5 4
	1 6 2		1 6 2 A

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 9 頁)

(21) 出願番号 特願2001-152139 (P2001-152139)

(22) 出願日 平成13年 5 月22日 (2001. 5. 22)

(71) 出願人 000116736

旭エンジニアリング株式会社
大阪府大阪市北区堂島浜 1 丁目 2 番 6 号

(72) 発明者 居山 文城

宮崎県延岡市旭町 6 丁目 4100 番地 旭エ
ン지니어リング株式会社内

(74) 代理人 100066980

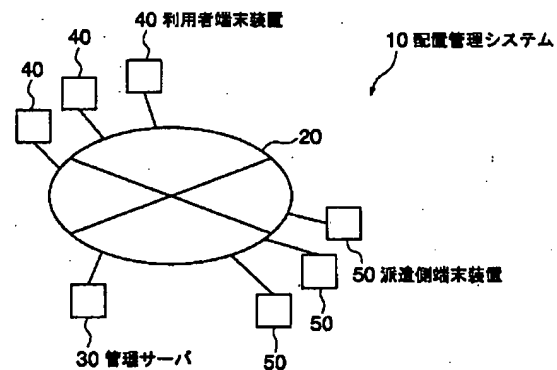
弁理士 森 哲也 (外 2 名)

(54) 【発明の名称】 ボランティア要員の配置管理システム及び管理サーバ

(57) 【要約】

【課題】 ボランティア要員にとっても、ボランティア要員の配置を希望する利用者にとっても、好適にボランティア要員の配置を管理できるようにしたい。

【解決手段】 インターネット 20 に、管理サーバ 30 と、複数の利用者端末装置 40 と、複数の派遣側端末装置 50 と、を接続する。管理サーバ 30 は、利用者端末装置 40 からボランティア要員の配置内容の希望を取得し、派遣側端末装置 50 から各ボランティア団体の配置可能人員数を取得する。そして、管理サーバ 30 は、所定期間内の配置計画を決定する処理を実行し、既に取得している配置可能人員数及びボランティア要員の配置内容の希望に基づいてボランティア団体毎に利用者を割り当て、その割当結果を利用者及びボランティア団体に通知する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 ボランティア要員の配置を管理するシステムであって、
管理サーバと、ボランティア要員の配置を希望する利用者が操作可能な利用者端末装置とが、通信回線を介して接続されるとともに、前記管理サーバと、ボランティア要員の派遣を行うボランティア団体の担当者が操作可能な派遣側端末装置とが、通信回線を介して接続され、前記管理サーバは、

事前準備処理として、前記ボランティア団体の配置可能人員数を、前記派遣側端末装置から前記通信回線を介して取得する配置可能人員数取得処理と、前記利用者が希望するボランティア要員の配置内容を、前記利用者側端末装置から前記通信回線を介して取得する希望内容取得処理と、を実行するようになっているとともに、所定期間内の配置計画を決定する配置計画処理として、前記取得している配置可能人員数及び前記利用者が希望するボランティア要員の配置内容に基づいてボランティア団体毎に前記利用者を割り当てる割当処理と、その割当結果を利用者及びボランティア団体の担当者に通知する通知処理と、を実行するようになってい

【請求項2】 前記管理サーバは、複数の前記利用者側端末装置と、複数の前記派遣側端末装置とに接続されており、前記希望内容取得処理では、利用者が希望するボランティア要員の配置内容として、希望するボランティア団体を特定可能であり、

前記割当処理では、各ボランティア団体毎に、配置可能人員数とそのボランティア団体に対する希望数とを比較し、その配置可能人員数がその希望数以上の場合には、そのボランティア団体に対してそのボランティア団体を希望する全利用者を割り当てる一方、その配置可能人員数がその希望数未満の場合には、そのボランティア団体に対して所定の優先順位に従って順番にそのボランティア団体を希望する利用者を割り当てるようになっている請求項1記載のボランティア要員の配置管理システム。

【請求項3】 前記配置可能人員数は日毎の人数であり、前記希望内容取得処理では日毎の前記配置内容を設定可能であり、前記割当処理は日毎の前記割り当てを行うようになっている請求項1又は請求項2記載のボランティア要員の配置管理システム。

【請求項4】 ボランティア要員の配置を管理するシステムに用いられる管理サーバであって、ボランティア要員の配置を希望する利用者が操作可能な利用者端末装置と、通信回線を介して接続されるとともに、ボランティア要員の派遣を行うボランティア団体の担当者が操作可能な派遣側端末装置と、通信回線を介して接続されており、

事前準備処理として、前記ボランティア団体の配置可能

人員数を、前記派遣側端末装置から前記通信回線を介して取得する配置可能人員数取得処理と、前記利用者が希望するボランティア要員の配置内容を、前記利用者側端末装置から前記通信回線を介して取得する希望内容取得処理と、を実行するようになっているとともに、所定期間内の配置計画を決定する配置計画処理として、前記取得している配置可能人員数に基づいてボランティア団体毎に前記利用者を割り当てる割当処理と、その割当結果を利用者及びボランティア団体に通知する通知処理と、を実行するようになってい

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、ボランティア要員の配置を管理するシステム及びそのシステム用の管理サーバに関し、特に、ボランティア要員の派遣が可能なボランティア団体が多数参加でき、面倒な処理を行うことなく配置管理を行えるようにしたものである。

【0002】

【従来の技術】ボランティア活動に参加しようとした場合、ボランティア活動を主催している団体に所属し、そのボランティア団体の担当者からの指示に従って具体的なボランティア活動を行うというのが一般的である。例えば、地震の被災地におけるボランティア活動を行う場合、行政機関等の組織がボランティア要員を募るボランティア団体となり、そのボランティア団体にボランティア活動を希望する個人を登録し、各個人に「食材の運搬」「調理」「食事の配布」といった担当を割り当てるというものである。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】確かに、地震等の被災地におけるボランティア活動であれば、ボランティア活動自体にさほど特殊な技能が必要でないし、また、ボランティア活動が緊急性を有するため、あるボランティア団体が募ったボランティア要員に、現場において直接担当を割り当てるというので充分であった。

【0004】しかしながら、例えば、介護現場（例えば、老人ホームや、一人住まいの老人の自宅等）における介護ボランティアのように、ある程度の専門的な技能や熟練度が必要であり、しかも、特に期限がなく日常的に行われるものにあっては、ボランティア活動の規模が大きくなると、個人個人の得意分野、熟練度、活動可能日等を把握し配置管理を行う従来の方法（例えば、特開平9-114893号公報参照）では、対処仕切れない可能性が高くなる。特に、各ボランティア要員について最新のデータが保存されていなければ、実際に割り当てを行おうとしても連絡先が変更されていて連絡が着かなかったり、得意分野が変わってしまつて（例えば、自家用車を利用して病院への送迎をボランティア活動として提供可能であったボランティア要員が、何らかの理由

で自動車を手放してしまい送迎が出来なくなってしまうような場合)、せっかく割り当てても必要なボランティア活動が行えない、といった事態が発生し易くなってしまふのである。

【0005】本発明は、このような従来の技術が有する未解決の課題に着目してなされたものであって、ボランティア要員にとっても、またボランティア要員の配置を希望する利用者にとっても、好適にボランティア要員の配置を管理することができるシステム及び管理サーバを提供することを目的としている。

【0006】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために、請求項1に係る発明は、ボランティア要員の配置を管理するシステムであって、管理サーバと、ボランティア要員の配置を希望する利用者が操作可能な利用者端末装置とが、通信回線を介して接続されるとともに、前記管理サーバと、ボランティア要員の派遣を行うボランティア団体の担当者が操作可能な派遣側端末装置とが、通信回線を介して接続され、前記管理サーバは、事前準備処理として、前記ボランティア団体の配置可能人員数を、前記派遣側端末装置から前記通信回線を介して取得する配置可能人員数取得処理と、前記利用者が希望するボランティア要員の配置内容を、前記利用者側端末装置から前記通信回線を介して取得する希望内容取得処理と、を実行するようになっているとともに、所定期間内の配置計画を決定する配置計画処理として、前記取得している配置可能人員数及び前記利用者が希望するボランティア要員の配置内容に基づいてボランティア団体毎に前記利用者を割り当てる割当処理と、その割当結果を利用者及びボランティア団体の担当者に通知する通知処理と、を実行するようにした。

【0007】また、請求項2に係る発明は、上記請求項1に係る発明であるボランティア要員の配置管理システムにおいて、前記管理サーバは、複数の前記利用者側端末装置と、複数の前記派遣側端末装置とに接続されており、前記希望内容取得処理では、利用者が希望するボランティア要員の配置内容として、希望するボランティア団体を特定可能であり、前記割当処理では、各ボランティア団体毎に、配置可能人員数とそのボランティア団体に対する希望数とを比較し、その配置可能人員数とその希望数以上の場合には、そのボランティア団体に対してそのボランティア団体を希望する全利用者を割り当てる一方、その配置可能人員数とその希望数未満の場合には、そのボランティア団体に対して所定の優先順位に従って順番にそのボランティア団体を希望する利用者を割り当てるようにした。

【0008】そして、請求項3に係る発明は、上記請求項1又は2に係る発明であるボランティア要員の配置管理システムにおいて、前記配置可能人員数は日毎の人数であり、前記希望内容取得処理では日毎の前記配置内容

を設定可能であり、前記割当処理は日毎の前記割り当てを行うようにした。さらに、上記目的を達成するために、請求項4に係る発明は、ボランティア要員の配置を管理するシステムに用いられる管理サーバであって、ボランティア要員の配置を希望する利用者が操作可能な利用者端末装置と、通信回線を介して接続されるとともに、ボランティア要員の派遣を行うボランティア団体の担当者が操作可能な派遣側端末装置と、通信回線を介して接続されており、事前準備処理として、前記ボランティア団体の配置可能人員数を、前記派遣側端末装置から前記通信回線を介して取得する配置可能人員数取得処理と、前記利用者が希望するボランティア要員の配置内容を、前記利用者側端末装置から前記通信回線を介して取得する希望内容取得処理と、を実行するようになっているとともに、所定期間内の配置計画を決定する配置計画処理として、前記取得している配置可能人員数に基づいてボランティア団体毎に前記利用者を割り当てる割当処理と、その割当結果を利用者及びボランティア団体に通知する通知処理と、を実行するようにした。

【0009】ここで、請求項1に係る発明にあつては、派遣側端末装置から管理サーバに、各ボランティア団体が配置可能(派遣可能)な人員数である配置可能人員数が提供されるから、管理サーバとしては、各ボランティア団体毎に配置可能な人員数を把握することになる。よって、管理サーバは、ボランティア要員毎に例えば得意分野や連絡先のような情報を管理しなくても構わない。

【0010】そして、管理サーバは、そのようなボランティア団体毎の配置可能人員数を、事前準備処理として、配置計画処理を行う前に取得する。また、管理サーバは、事前準備処理として、利用者が希望するボランティア要員の配置内容(例えば、○月○日に、自宅において、訪問入浴サービスを受けたい。)を、配置計画処理を行う前に取得する。

【0011】事前準備処理は、配置計画処理を実行する前に完了していればよく、例えば、配置計画処理を月単位で行うようになっていて、各月の計画を、その前月の21日に行うように設定したとすれば、ある月の事前準備処理は、前々月の21日から前月の20日の間に行うということになる。つまり、その場合は、前々月の21日から前月の20日までが、ある月のボランティア活動についての配置可能人員数及び配置希望の受け付け期間となる。

【0012】そして、管理サーバは、配置計画処理を実行するタイミングになると(上記例の場合であれば、各月の21日になると)、先ず、割当処理を実行し、既に取得している配置可能人員数に基づいてボランティア団体毎に利用者を割り当て、その割り当てが完了したら、通知処理を実行する。かかる割当処理であれば、管理サーバとしては、ボランティア要員一人一人について割り当てを行うのではなく、ボランティア団体毎にその配置

可能人員数に応じて利用者を割り当てればよいから、ボランティア団体及び利用者の双方が多数システムに参加していても、大きな負荷にはならない。そして、通知処理を行えば、利用者及びボランティア団体の担当者は、所定期間内の配置計画を知ることが出来るから、利用者は、自己の希望する配置内容が受け入れられたか否かを知ることができ、ボランティア団体の担当者は、そのボランティア団体に属している要員にボランティア活動を割り当てることになる。

【0013】本システムに参加するボランティア団体は、特に限定されるものではなく、有志が集まって構成した任意のボランティア団体でもいいし、或いは、中学校、高等学校のような学校単位で構成したボランティア団体であってもよい。特に、学校単位で構成したようなボランティア団体の場合、入学卒業の時期に団体の構成員が入れ代わるため、管理サーバ側で全てのボランティア要員を個々に把握するシステムでは大幅なデータの入れ換えの手間などが発生してしまうし、ミスが発生する確率もそれだけ高くなるが、本システムであれば、そのボランティア団体としての学校の配置可能人員数だけ把握していればよく、団体の構成員が頻繁に変わっても配置可能人員数だけ更新すれば問題ないから、学校のようなボランティア団体が参加した場合に特に好適である。

【0014】請求項2に係る発明にあっては、管理サーバは、各ボランティア団体を希望する利用者の総数（希望数）と各ボランティア団体の配置可能人員数とを事前準備処理によって把握し、その後の配置計画処理の割当処理において、ボランティア団体毎にその配置可能人員数と希望数とを比較し、その比較結果に基づいて割り当てを行う。ボランティア団体の配置可能人員数が希望数以上であれば、そのボランティア団体を希望する全利用者を割り当てることができる。ボランティア団体の配置可能人員数が希望数未満であると、そのボランティア団体を希望する全利用者をそのボランティア団体に割り当てることはできないから、所定の優先順位（例えば、介護ボランティアであれば、介護の必要性の高い順等）に従って順番に割り当てることになる。

【0015】請求項3に係る発明にあっては、ボランティア団体の配置可能人員数、利用者の希望する配置内容、及び割当処理における割り当てを、日毎に行うようになっている。ボランティア活動のうち、訪問介護のようなものは、ある特定の日にある特定の介護を希望する場合が多いため、日を単位として取り扱った方が都合がよい場合に特に好適である。

【0016】さらに、請求項4に係る発明にあっては、上記請求項1〜3に係る発明であるボランティア要員の配置管理システムを運営する上で好適な管理サーバが提供される。

【0017】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を図面

に基づいて説明する。図1は本発明の一実施の形態である介護ボランティア要員の配置管理システム10の全体構成を示す図であり、通信回線としてのインターネット20に、管理サーバ30と、複数の利用者端末装置40と、複数の派遣側端末装置50と、が接続されている。

【0018】利用者端末装置40は、この配置管理システム10を利用して介護ボランティア要員の配置を希望する利用者（要介護者又はその家族等）が操作可能な端末装置であり、パーソナルコンピュータや、インターネット等への接続機能を備えた携帯電話等が適用される。派遣側端末装置50は、介護ボランティア要員の派遣を行うことができるボランティア団体の担当者（ボランティア団体の代表者又は連絡係等）が操作可能な端末装置であり、これも、パーソナルコンピュータや、インターネット等への接続機能を備えた携帯電話等が適用される。つまり、利用者端末装置40と派遣側端末装置50とは、ハードウェアとして特別のものではなく、それを操作する者の属性によって利用者端末装置40又は派遣側端末装置50となる。

【0019】そして、管理サーバ30は、この配置管理システム10の運営者（例えば、地方公共団体等）の管理下にある装置であって、この実施の形態では、ウェブ上に公開しているホームページを利用して、介護ボランティア要員の配置を管理するようになっている。ホームページ内には、介護ボランティア要員を派遣を行うボランティア団体が入力や設定を行うための「介護提供者のページ」と、介護ボランティア要員の配置を希望する利用者が入力や設定を行うための「介護希望者のページ」とが用意されている。

【0020】図2は「介護提供者のページ」のメニューページの一例であって、この例では「情報登録」「活動予約」「介護予約状況確認」「介護確定情報」がメニューに用意されている。そして、この配置管理システム10にこれから参加しようとするボランティア団体の担当者は、派遣側端末装置50を操作して管理サーバ30が公開しているホームページ内の図2のようなページを最初に開いたときに、「情報登録」を選択して、ボランティア団体の情報の入力処理を行う。そして、担当者がメニューの「情報登録」を選択すると、図3に示すような団体情報の入力ページに切り換わる。

【0021】図3の団体情報の入力ページでは、団体の名称、メールアドレス、団体に属している人員数、これまでにを行った介護ボランティアの実績、住所、電話番号、その他意見や希望を入力するとともに、提供可能な介護サービスの種類を選択するようになっている。団体情報については、その後に変更がなければ、各ボランティア団体毎に入力は一度で構わない。

【0022】図3の団体情報の入力が入力完了した若しくは既に入力を行っているボランティア団体の担当者は、図2のページにおいて「活動予約」又は「介護予約状況確

認」を選択する。活動予約を選択すると、そのボランティア団体が活動を行っている日(月日や曜日)を入力する画面に切り換わる。このような活動予約を選択する画面を設けたのは、図3の団体情報の入力ページで入力した人員数を、その団体の活動日であればいつでも配置可能であり、しかも図3の団体情報の入力ページで選択した提供可能な介護サービスを活動日であれば例外なく提供可能なボランティア団体については、後述するような日毎の入力をする手間が省けるからである。

【0023】これに対し、介護予約状況確認は、一定期間内における日毎の活動を予約するための処理であって、一定期間としては、例えば月毎とすることができる。実際には、介護予約状況確認を行った後に、後述するように介護希望者からの希望に応じて配置計画を行いその結果を通知する必要があるため、各月の介護予約状況確認の締め切り日は、その前月の例えば20日とすることになる。よって、前々月の21日から前月の20日がその月の介護予約状況確認が可能な期間となる。そして、メニューの「介護予約状況確認」を選択すると、図4に示すような介護予約状況確認のページに切り換わる。

【0024】図4の介護予約状況確認のページでは、その月(この例では、西暦2000年の1月)の各日(1日、2日、…、31日)毎に、介護ボランティアの提供が可能か否か、提供できる介護サービスの種類、配置可能人員数を入力するようになっている。介護ボランティアの提供が可能か否かについては、「可能日」という表示の横のチェック欄をマウス等のポインティングデバイスでクリックすることにより可能と判断されるようになっている。提供できる介護サービスの種類については、選択形式としている。配置可能人員数については、各日毎の介護サービスの種類毎に、配置可能な人員数を直接入力するようになっている。入力及び確認が完了したら、ページ右上の「送信」を選択することにより、入力された情報が管理サーバ30に送信される。

【0025】図4のページでの入力、確認及び送信は事前準備処理の一部であり、特に、配置可能人員数を入力し送信する部分が配置可能人員数取得処理に対応する。一方、図5は、「介護希望者のページ」のメニューページの一例であって、この例では「情報登録」「介護団体情報」「介護希望予約」「介護確定情報」がメニューに用意されている。

【0026】そして、この配置管理システム10にこれから参加しようとする要介護者や家族等の利用者は、利用者端末装置40を操作して管理サーバ30が公開しているホームページ内の図5のようなページを最初に開いたときに、「情報登録」を選択して、要介護者の情報の入力処理を行う。そして、利用者がメニューの「情報登録」を選択すると、図6に示すような団体情報の入力ページに切り換わる。

【0027】図6の個人情報の入力ページでは、要介護者の氏名、メールアドレス、年齢、家族構成、性別、住所、電話番号、その他意見や希望を入力するとともに、主として希望する介護サービスの種類を選択するようになっている。個人情報についても、その後に変更がなければ、要介護者毎に入力は一度で構わない。図6の個人情報の入力完了した若しくは既に入力を行っている利用者は、図5のページにおいて「介護団体情報」又は「介護希望予約」を選択する。介護団体情報を選択すると、この配置管理システム10に既に登録しているボランティア団体に関する情報を閲覧できるページに切り換わるようになっている。利用者がボランティア団体の活動内容等は、介護希望予約時にボランティア団体を指定するときの参考になるからである。

【0028】これに対し、介護希望予約は、一定期間内における日毎の介護希望を予約するための処理であって、一定期間としては、例えば月毎とすることができる。実際には、介護希望予約を行った後に、その介護希望予約に応じて配置計画を行いその結果を通知する必要があるため、各月の介護希望予約の締め切り日は、その前月の例えば20日とすることになる。よって、前々月の21日から前月の20日がその月の介護希望予約が可能な期間となる。つまり、本実施の形態では、介護希望予約は、上述した介護予約状況確認(配置可能人員取得処理)と対応した期間内に行われるようになっているが、両者の期間は必ずしも完全に一致させておく必要はない。

【0029】そして、メニューの「介護希望予約」を選択すると、図7に示すような介護希望予約のページに切り換わる。図7の介護希望予約のページでは、その月(この例では、西暦2000年の1月)の各日(1日、2日、…、31日)毎に、介護サービスを希望するか否か、希望する介護サービスの種類、希望するボランティア団体(第1～3希望まで)を入力するようになっている。介護サービスを希望するか否かについては、「希望する」という表示の横のチェック欄をマウス等でクリックすることにより希望するという設定が行われるようになっている。希望する介護サービスの種類及び希望するボランティア団体については、選択形式としている。なお、ボランティア団体の希望は、第1希望のみ、或いは、第2希望までの入力でも構わないし、希望を全く入力しなくても構わない。そして、図7のページでの入力及び確認が完了したら、ページ右上の「送信」を選択することにより、入力された情報が管理サーバ30に送信される。

【0030】図7のページでの入力及び送信は事前準備処理の一部であって、希望内容取得処理に対応する。図4及び図7を伴って説明した事前準備処理が行われ、各月の締め切り日(上記例であれば、各月の21日)になると、その翌月の介護ボランティアの配置計画処理が管

理サーバ30において実行される。

【0031】図8は、配置計画処理の概要を示すフローチャートであって、先ず、ステップ101において、配置計画を行う月の各日毎に、各ボランティア団体毎の第1希望数を集計し、ステップ102に移行する。ステップ102～106の処理は、ボランティア団体毎に実行され、先ずは最初のボランティア団体について、第1日目の配置可能人員数と第1希望の総数とを比較する。

【0032】そして、ステップ103に移行し、配置可能人員数が第1希望の総数以上であるか否かを判定し、この判定が「YES」の場合には、ステップ104に移行して、ここでの第1希望の利用者全てについてそのボランティア団体を割り当てるとともに、割り当て済みフラグを立てる。これに対し、ステップ103の判定が「NO」の場合には、ステップ105に移行し、ここで第1希望の利用者に所定の優先順位に従って順番を付ける。優先順位としては、要介護者の個人情報に基づき、介護ボランティアの必要度が高いほど得点が高くなって順番が早くなるように設定することが望ましい。

【0033】例えば、優先順位を決める項目として、年齢、家族構成、介護ボランティアの種類の三つを設定したとする。そして、年齢については、80歳以上…10点、75歳以上80歳未満…8点、70歳以上75歳未満…6点、65歳以上70歳未満…4点、60歳以上65歳未満…2点

家族構成については、

一人住まい…10点、家族別居…5点、家族同居…2点
介護ボランティアの種類については、
訪問介護…10点、訪問入浴介護…10点、通所介護…5点、買い物介助…3点、散歩の介助…2点、家事…2点、話し相手…1点

という具合に点数を設定しておき、各項目毎の点数の合計が高いほど順位が高くなるように順番を付ける、という方法が採用可能である。

【0034】順位付けが終わったら、ステップ106に移行し、ステップ105で決められた順番に従って利用者をボランティア団体に割り当てるとともに、割り当て済みフラグを立てる。そして、ステップ104又はステップ106からステップ107に移行し、ステップ102～106の処理が全てのボランティア団体について完了したか否かを判定する。この判定が「NO」の場合には、ステップ102に戻り、次のボランティア団体について上述した処理を実行する。

【0035】ステップ107の判定が「YES」の場合には、ステップ108に移行し、第1希望を出している利用者についてボランティア団体の割当が完了したか否かを判定する。具体的には、第1希望を設定している利用者毎の介護ボランティアの希望日の全てについて割り当て済みフラグが立っているか否かを判断することになる。

【0036】ステップ108の判定が「NO」の場合には、ステップ109に移行し、ここでは、第1希望を出しているが割り当てが完了していない利用者について、第2希望に従ってステップ102～107と同様の処理を行って割り当てを行う。そして、ステップ109からステップ110に移行し、第2希望を出している利用者についてボランティア団体の割当が完了したか否かを判定する。具体的には、第2希望を設定している利用者毎の介護ボランティアの希望日の全てについて割り当て済みフラグが立っているか否かを判断することになる。さらに、ステップ110の判定が「NO」の場合には、ステップ111に移行し、ここでは、第2希望を出しているが未だ割り当てが完了していない利用者について、第3希望に従ってステップ102～107と同様の処理を行って割り当てを行う。そして、ステップ112に移行し、第3希望を設定している利用者についてボランティア団体の割当が完了したか否かを判定する。具体的には、第2希望を設定している利用者毎の介護ボランティアの希望日の全てについて割り当て済みフラグが立っているか否かを判断することになる。

【0037】ステップ112の判定が「NO」の場合には、管理サーバ30のソフトウェアによる処理では割り当てが完了しないと判断し、ステップ113に移行し、この配置管理システム10の担当者にその旨の通知を行い、対処してもらう。そして、ステップ108、110及び112のいずれかの判定が「YES」の場合並びにステップ113において担当者が対処を行った場合には、ステップ114に移行する。

【0038】ステップ114では、ボランティア団体について特に希望を出していない利用者について割り当てを行う。ステップ114での割り当てのルールは、任意であり、ランダムに割り当ててもよいし、過去の割り当て実績になるべく近くなるように新たな割り当てを行うというものでもよい。ステップ114の処理を終えたら、全利用者に対して割り当てが完了したことになるから、ステップ115に移行し、割当結果を、各利用者及び各ボランティア団体に通知する。ここでの通知の方法も特に限定されるものではなく、例えばホームページ内に公開し、その公開したページへのリンクを設けた電子メールを利用者端末装置40、派遣側端末装置50に対して送信するという方法でもよいし、割当結果の内容そのものを電子メール、ファックス、郵便等を利用して各利用者やボランティア団体に送信するというものでもよい。

【0039】図9は、各ボランティア団体に対して割当計画を公開するためのページの例を示しており、団体名を入力することにより割当結果の検索が可能となっていて、検索の結果、ある月における日毎の割当結果が表示される。各ボランティア団体の担当者は、割当結果に基づいて、そのボランティア団体に属している介護ボラン

ティア要員に対して具体的なスケジュールを通知することになる。

【0040】また、図10は、各利用者に対して割当計画を公開するためのページの例を示しており、利用者名を入力することにより割当結果の検索が可能となっていて、検索の結果、ある月における日毎の割当結果が表示される。そして、ステップ115からステップ116に移行し、配置計画に変更が必要か否か（例えば、利用者やボランティア団体から変更の要請があったか否か、或いは、配置管理システム10の担当者が変更が必要であると判断したか否か等）を判定し、この判定が「YES」の場合にはステップ117に移行し、配置計画の変更処理を実行する。ステップ117における変更処理は、変更が必要な部分について配置管理システム10の担当者が手作業で変更するようなものでもよいし、或いは、変更が不要な部分は情報を固定した状態で変更が必要な部分についてのみステップ102移行の処理を再実行するようなものでもよい。

【0041】ステップ116の判定が「NO」の場合及びステップ117の処理が完了したら、これで今回の図8の処理を終了し、次回の実行タイミングまで待機状態となる。このように本実施の形態であれば、インターネット20、管理サーバ30、利用者端末装置40及び派遣側端末装置50を利用して介護ボランティア要員の配置計画を立てるようにしているため、効率的に配置計画を行うことができる。

【0042】また、本実施の形態であれば、管理サーバ30は、各ボランティア団体の配置可能人員数を把握し、その配置可能人員数に基づいて利用者を割り当てるようにしているから、管理サーバ30としては、個々の介護ボランティア要員の連絡先や提供可能な介護サービスを把握する必要がない。このため、ボランティア団体及び利用者の双方が多数、この配置管理システム10に参加しても、大きな負荷にはならない。特に、中学校、高等学校のような学校単位で構成したようなボランティア団体の場合、入学卒業の時期に団体の構成員が入れ代わるため、管理サーバ30側で全てのボランティア要員を個々に把握するシステムでは大幅なデータの入れ換えの手間などが発生してしまうし、ミスが発生する確率もそれだけ高くなるが、本実施の形態のような配置管理システム10であれば、そのボランティア団体としての学校の配置可能人員数だけ把握していればよく、団体の構成員が頻繁に変わっても配置可能人員数だけ更新してもらえば特に問題は生じないのである。

【0043】ここで、本実施の形態では、図4を伴って説明した処理のうち配置可能人員数を入力し送信する部分が配置可能人員数取得処理に対応し、図7を伴って説明した処理が希望内容取得処理に対応し、図8のステップ102～114の処理が割り当て処理に対応し、ステップ115の処理が通知処理に対応する。なお、上記実施の形態では、本発明に係るボランティア要員の配置管理システムを介護ボランティア要員の配置管理システム10に適用した場合について説明したが、本発明の適用対象は介護ボランティアに限定されるものではなく、その他のボランティア活動であってもよい。

【0044】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、管理サーバは、事前準備処理として、配置可能人員数取得処理及び希望内容取得処理とを実行するとともに、所定期間内の配置計画を決定する配置計画処理として、割当処理及び通知処理を実行するようにしたため、ボランティア要員の派遣が可能なボランティア団体が多数参加でき、面倒な処理を行うことなく配置管理を行えるという効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施の形態の全体構成図である。

【図2】ボランティア団体が参照するホームページの一例を示す図である。

【図3】団体情報の入力ページの一例を示す図である。

【図4】介護予約状況の入力及び確認のページの一例を示す図である。

【図5】利用者が参照するホームページの一例を示す図である。

【図6】個人情報の入力ページの一例を示す図である。

【図7】介護希望予約の入力ページの一例を示す図である。

【図8】配置計画処理の概要を示すフローチャートである。

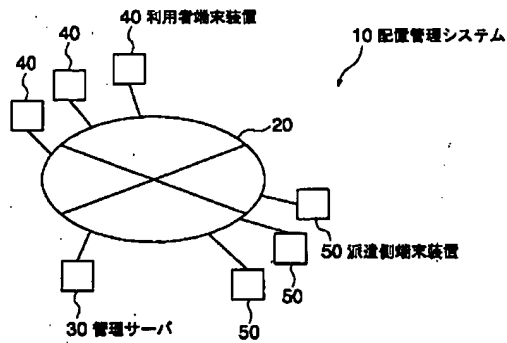
【図9】ボランティア団体に対して割当結果を示すページの一例を示す図である。

【図10】利用者に対して割当結果を示すページの一例を示す図である。

【符号の説明】

- | | |
|----|---------------|
| 10 | 配置管理システム |
| 20 | インターネット（通信回線） |
| 30 | 管理サーバ |
| 40 | 利用者端末装置 |
| 50 | 派遣側端末装置 |

【図1】



【図3】

団体情報

この広場を利用していただくために情報を入力して下さい。

団体

メールアドレス

人員 人

概要

住所

電話番号

可能な介護サービスを選択して下さい。

☐ 訪問介護 ☐ 訪問入浴介護 ☐ 療養管理指導 ☐ 通所介護

ご意見、ご希望などございましたらお書きください。

ありがとうございました。

【図5】

【図2】

介護提供者の介護

この広場を利用していただくために情報を入力して下さい。

MENU

- ☐ 情報登録 一団体情報を入力。
- ☐ 派遣予約 一派遣日を設定。
- ☐ 介護予約状況確認 一介護種類と希望日を予約。
- ☐ 介護派遣情報 一指定したスケジュールを表示。

【図4】

団体名

可能予約カレンダー

2000年1月

1 土 可能日 ☐

提供サービス	訪問介護	訪問入浴	可搬人員	0	人
提供サービス	無し	無し	可搬人員	0	人
提供サービス	無し	無し	可搬人員	0	人

2 日 可能日 ☐

提供サービス	訪問介護	訪問入浴	可搬人員	0	人
提供サービス	無し	無し	可搬人員	0	人
提供サービス	無し	無し	可搬人員	0	人

3 月 可能日 ☐

提供サービス	訪問介護	訪問入浴	可搬人員	0	人
提供サービス	無し	無し	可搬人員	0	人
提供サービス	無し	無し	可搬人員	0	人

【図7】

介護希望者の介護

この広場を利用していただくために情報を入力して下さい。

MENU

- ☐ 情報登録 一個人情報を入力。
- ☐ 介護団体情報 一団体を検索しています。
- ☐ 介護希望予約 一介護種類と希望日を予約。
- ☐ 介護希望情報 一指定したスケジュールを表示。

お名前

希望予約カレンダー

2000年1月

1 土 希望する ☐ 希望介護サービス ☐ 希望人数 ☐

第一希望ボランティア団体	希望人数	0	人
第二希望ボランティア団体	希望人数	0	人
第三希望ボランティア団体	希望人数	0	人

2 日 希望する ☐ 希望介護サービス ☐ 希望人数 ☐

第一希望ボランティア団体	希望人数	0	人
第二希望ボランティア団体	希望人数	0	人
第三希望ボランティア団体	希望人数	0	人

3 月 希望する ☐ 希望介護サービス ☐ 希望人数 ☐

第一希望ボランティア団体	希望人数	0	人
第二希望ボランティア団体	希望人数	0	人
第三希望ボランティア団体	希望人数	0	人

【図6】

個人情報

この広場を利用していただくために情報を入力して下さい。

名前

メールアドレス

年齢

性別 ☐ 男性 ☐ 女性

住所

電話番号

希望する介護サービスを選択して下さい。

☐ 訪問介護 ☐ 訪問入浴介護 ☐ 食事管理指導 ☐ 通所介護

ご意見、ご希望などございましたらお書きください。

ありがとうございました。

【図9】

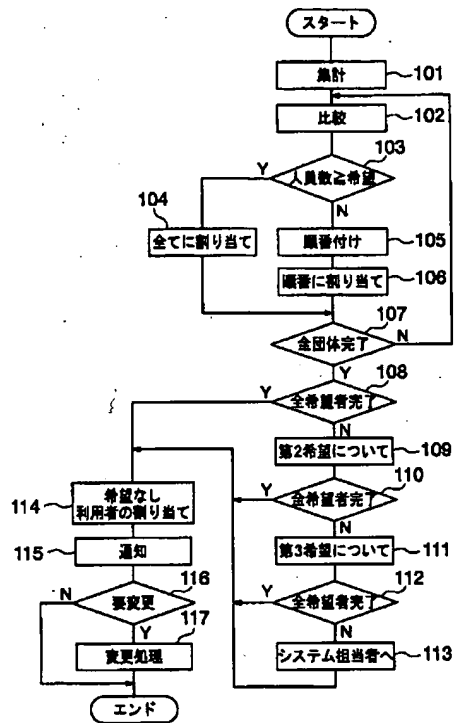
団体名 (検索)

団体別確定カレンダー

2000年1月

1	土	通所介護	→	既読
2	日	訪問介護	→	既読
3	月	訪問介護	→	既読
4	火	食事管理指導	→	既読
5	水			
6	木	通所介護	→	既読
7	金			
8	土	訪問介護	→	既読
9	日	食事管理指導	→	既読
10	月			
11	火	通所介護	→	既読
12	水	訪問介護	→	既読
13	木			
14	金			
15	土	訪問介護	→	既読
16	日	訪問介護	→	既読
17	月	訪問介護	→	既読
18	火			

【図8】



【図10】

お名前 (印刷)

確定カレンダー

2000年1月

1	土	通所介護	→	既読
2	日			
3	月			
4	火	通所介護	→	既読
5	水			
6	木			
7	金			
8	土	訪問介護	→	既読
9	日			
10	月			
11	火			
12	水	通所介護	→	既読
13	木			
14	金			
15	土	訪問介護	→	既読
16	日			
17	月	訪問介護	→	既読
18	火			